

ニプロ経腸栄養用エクステンションチューブ (DEHP可塑剤フリー、ISO80369-3 適合品)

再使用禁止

【禁忌・禁止】

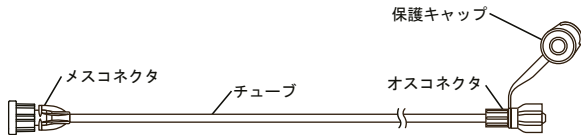
1. 使用方法

- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

【構造図（代表図：品種により構成部品が異なる場合がある。）】



コネクタはISO80369-3（経腸栄養用コネクタ規格）に適合する。

**2. 材質

チューブ	ポリ塩化ビニル
オスコネクタ	ポリ塩化ビニル
メスコネクタ	ポリ塩化ビニル、ポリプロピレン

ポリ塩化ビニルの可塑剤は、トリメリット酸トリ-2-エチルヘキシルを使用している。

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤を投与する器具をいう。

【使用方法等】

1. 包装を開封し、本品を取り出します。
2. 保護キャップを取り外します。
3. 他の医療機器と速やかに接続します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 本品は、ISO80369-3（経腸栄養用コネクタ規格）対応のため、ISO80369-3に適合する製品と接続してください。ISO80369-3であるかどうかは包装表示で確認してください。
2. 接続部への経腸栄養剤や医薬品等の付着に注意してください。[接続部の緩み等のおそれがあります。]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) チューブ等が身体の下等に挟まれないよう注意すること。
[チューブ等の折れ、閉塞、破損等のおそれがある。]
- 2) チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないこと。また、注射針の先端、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。[液漏れ、空気混入や破損のおそれがある。]
- 3) チューブとコネクタの接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないよう注意すること。[チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがある。]
- 4) コネクタを接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。
[コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れ、空気混入のおそれがある。]
- 5) 経腸栄養剤投与の後は、必ず微温湯によりフラッシュ操作を行うこと。[経腸栄養剤等の残渣の蓄積によるチューブ詰まりを未然に防ぐ必要がある。]
- 6) チューブを介しての散剤等（特に添加剤として結合剤等を含む薬剤）の投与は注意すること。[チューブ詰まりのおそれがある。]

- 7) 経腸栄養剤等の投与、又は微温湯等によるフラッシュの際、操作中に抵抗が感じられる場合は操作を中止すること。[チューブ閉塞やチューブ破損のおそれがある。]
- 8) チューブが詰まった場合は、新しい製品に交換すること。
- 9) 使用中は本品の破損、接合部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
- 10) 本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。[破損のおそれがある。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。

有効期間：滅菌後3年 [自己認証（自社データ）による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造（輸入先）

ニプロ（上海）有限公司

[NIPRO (SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]



ニプロ株式会社